

- 10月12日から13日にわたって日本を横断した台風19号は、浸水、暴風、高潮等により民家等の被害が発生し、橋北地区も12日午前7時に風水害避難場所として下中小学校、さつきが丘集会所が開設されました。
橋団地公民館が避難場所として自主解放され、橋中学校も地域の判断で解放されました。
下中小学校には103人、ペット1頭、橋中学校・31人、ペット1頭、さつきが丘集会所・2人、橋団地公民館・2人避難されました。
スーパー台風の発生頻度がますます高くなる中、家庭内の非常持出品、備蓄品の置き場所や中身の確認、防災グッズの用意もしておきましょう。また避難について、小田原市防災対策課より「避難場所の違い」が回覧で回りました、下記の内容を再度確認し災害から身を守ることを第一に考えましょう。

風水害避難の鉄則は早めの避難です。しかし、大雨で避難が困難な状況での外出はさらに危険です。避難場所まで避難する猶予がない場合は、自宅や近隣住宅の比較的高い所に避難をする「垂直避難」という考え方があります。

知っておこう避難場所の違い

風水害避難場所：下中小学校、上町公民館、東際寺、さつきが丘集会所、若葉台自治会館
風水害の危険が迫る前に公共施設などの中から短期的な避難場所として設ける施設

土砂災害避難場所：下中小学校、上町公民館、東際寺、さつきが丘集会所、若葉台自治会館
限定された地域で土砂災害の危険が迫った場合に、公共施設や民間施設などの中から短期的な避難場所として設ける施設。

広域避難所：下中小学校

家屋で生活ができなくなった避難者の収容施設として長期的な生活の場となる場所。
※ 広域避難所は風水害避難場所の機能と地震後の火災等から一時的に身を守る避難場所としての機能を兼ね備えています。

一時避難場所：各自治会自主防災組織が定めた場所

地震時に地域で安否確認などを行う一時的に避難する場所。あらかじめ自主防災組織ごとに定めている。 **水害時には集まりません。**

橋北地区は大きな被害はありませんでしたが、市内では下記の被害が発生しました。

小田原市内の台風19号による被害概要（10月15日時点）

浸水被害：山王川水系の久野地区及び山王地区、狩川水系の富水地区等で、床上、床下浸水が各地区数件発生しました。

暴風被害：酒匂・小八幡地区等で住居が10数件、片浦地区等で非住居（小屋等）が10件程度発生しました。

高潮被害：酒匂・小八幡地区、国府津地区、前羽地区等で住居が10件程度、非住居が20件程度発生しました。

橋北地区まちづくり委員会では、今後も、地域の課題解決に向け取組を進めてまいります。

橋北地区まちづくり通信

まちづくり委員会って何？

橋北地区の各種団体や住民相互の交流と活動を通じて、地域の課題解決を行い、住みよいまちづくりを進めていくことを目的として、地域の課題を共有化したり、解決に向けた取組を進めたりしている団体です。平成26年度に設立し、現在27団体で活動しています。

発行：橋北地区まちづくり委員会
発行責任者：委員長 田中 正俊



2019年度中間報告とこれからの活動

見守り拠点分科会

しもなかつ子 この指と〜まれっ!!

- 下中老人憩の家で子どもの遊び場を毎月第4土曜日13時から16時まで実施しています。ハラハドキドキのバランスゲームジェンガやカードゲームのトランプにウノや的当て、ボールダーツいろいろあるヨ
下期も引き続き見守り起点活動を実施します。
開いてる時間なら、いつ来ていつ帰っても大丈夫！
大人の方も気軽に子どもたちとふれあいにきてくださいね
- 子ども会主催の「お泊まり会」に分科会として共催しました。
- 1月26日に中村原ふれあい広場で凧揚げ大会を予定しています。



文化・教育分科会

- 8月12日～13日に下中学区連合子ども会と一緒に「お楽しみ会」を分科会としてお手伝いをしました。
- 9月24日下中幼稚園の園庭に、冬の間も緑を保てるよう冬芝の種まきに協力しました。
- 音と楽しもう！音楽フェスティバル IN タチキタ
11月10日に橋中学校の吹奏楽部に来ていただき音楽や楽器（音）に関する実験コーナーといった参加者が楽しめて、なおかつタメになる体験型イベントを実施しました。
- AMラジオ制作教室
今年度2月頃には昨年度も実施しましたAMラジオ工作教室を企画実施する予定です。
是非ラジオ作りを経験してみませんか！



お楽しみ会でグランドゴルフ

コミュニティバス検討分科会

- 第1回分科会の打ち合わせを6月20日に行いました。
- 既存の路線バスの重要性と近い将来に地域コミュニティバスが必要であることを確認しました。
- バス事業者と小田原市まちづくり交通課も同席し会議を行います。
- 早い時期に方向性を決める予定です。

防災・減災（救護・応急手当）分科会

- 地域で学ぶ防災プログラム(DIG研修)を8月17日実施しました。
- 災害時救護法(三角巾包帯法・搬送法)講習会を8月25日、資機材取り扱い訓練を10月27日実施しました。引き続き乳幼児小児救急法講習会などをおこないます。
- 地域住民の防災意識調査の為、防災意識アンケートを進めています。全戸配布していますので、回収したアンケートを分析して今年度中に報告するようにいたします。
- 昨年度より取り組んでいる、広域避難所運営マニュアルを完成させます。



DIG 研修

しもなか通信分科会

- 幼稚園、小中学校の日程や、子どもに関する行事を一括カレンダーにして、偶数月に発行全戸配布しています。各家庭で活用してください。また、みなさんの反応が励みになります。毎月一回編集会議を開催して記事の内容検討等をしており、ペット紹介、地元の風景写真等随時募集しています、気楽にご応募お願いします。



防犯・青パト導入検討分科会

- 防犯カメラ設置推進
カメラを購入(26台)地域内の取り付けをお願いしました。抑止力として、効果があるそうです。
- 青パト導入検討
今までは個人の車を使用して、地域のパトロールをしていましたが、中古車の提供を受け運用を準備中です。



取付け例

福祉・健康づくり分科会

- 「ふらっとしもなか」を毎月第3土曜日(13:00~16:00)に下中老人憩の家で開催しています。皆さまお気軽にお越しください。参加者も増えリースや折り紙で花のくす玉作りを楽しんでいます。地域包括支援センターたちばなの出張相談会も同時開催されています。(13:30~15:30)下期も引き続き実施します。
- たちばなの里見学会を6月1日に実施しました。
- 9月28日に認知症サポーター養成講座を開催しました。

交通安全分科会

- 分科会を5月11日、9月22日開催しました。
- 前羽の駐在さんと相談しながら、地域への交通安全対策、交通安全講習を実施予定で準備中です。

広報分科会

- 「まちづくり通信」通算第5号を発行しました。
- 各分科会の活動や地域の情報を「まちづくり通信」で引き続き発信します。
*取りあげてほしい地域のできごとなどあれば情報をおねがいします。



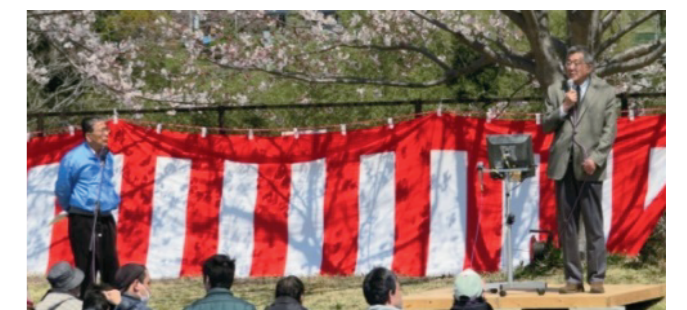
橘北地区社会福祉協議会紹介

橘北地区社会福祉協議会とは何をしている団体？

- 社協(社会福祉協議会の略)とは、地域福祉の推進をはかるための社会的しくみで、地域を幸せと元気にする団体です。
橘北地区の社協は、各自治会から選出された常任理事と民生委員児童委員、ボランティアクラブ、健康おだわら普及員等の各種団体で組織され、自治会との連携で運営されています。主な活動は、「高齢者お花見会」「敬老会」「高齢者昼食会兼いきいき健康事業」「早朝みんなで歩こう会」「合同七五三祝式」「しめ飾り作製講習会」や、地域の催し会への参加です。



早朝みんなで歩こう会 7月



高齢者お花見会 4月



敬老会 9月

このような活動を通して、住民の皆さんどうしが自然に交流を深め、困ったことがおきた時には、お互いに助け合えるような環境づくりを進めています。今後も地域の皆様のご支援をいただきながら、地域の状況に合わせた事業を展開していきたいと思っておりますので、ご協力よろしくおねがいいたします。

募 集

- まちづくり委員会へのボランティア参加者を随時募集しています。自治会OBや、関係団体の科員で構成されていますが、まだまだ女性の意見が足りません、多くの女性が、まちづくりに関われるように女性の参画をお願いします。